

館林駅東口拠点開発構想について

篠木 正明 議員

質問 商工会議所から館林

駅東口拠点開発構想の推進についての要望書が提出されていますが、館林駅東口拠点開発構想とはどのような構想なのか。

答 商工会議所が取りまとめたのですが、キンカ堂跡地等に総事業費約92億円、商業施設や公益施設、

住居、駐車場の複合施設を建設するという構想です。

質問 要望書では、館林駅東口拠点開発検討会議を設置すること、館林市中心市街地活性化基本計画にこの計画を盛り込むこと、修正した中心市街地活性化基本計画で国の認定を受けることの3項目の要望が出され

ていますが、市はどのようなにかかわるのですか。

答 この構想は、街なか居住を推進し、街のにぎわいや商業等の活性化を実現することを目的とする素晴らしい計画であると受けとめています。しかし、構想実現には多額の費用と時間を費やします。また、中心市街地活性化基本計画の中に位置づけて国の認定を受けるには5年以内の実現が求められるため、商工会議所において、資金計画の検

討をお願いしたところです。

質問 平成19年12月議会で「認定には、条例を制定して準工業地域に大型店などの出店規制をすることが義務づけられています。本市は駅西側に準工業地域が存在することから、大型店の出店規制をかけることは、中心市街地の活性化をそこないかねない」という問題をはらんでいます」と答弁しています。この答弁ですと、国の認定を受けるのは無理だと思えますが、考えが変

わったのですか。

答 以前の答弁のとおりで変わりありません。

質問 そうなると、商工会議所の要望に答えられないということになります。中心市街地をどうするかについて商工会議所など関係団体を入れた検討会議を設置して進めていくべきだと思いますが、いかがですか。

答 全くそのとおりと考えております。

この他、少子化対策についても質問しました。

記録的豪雪について

青木 一夫 議員

質問 想定外の大雪による本市の農畜産業及び一般家庭の被害状況についてお尋ねします。

答 被害状況は、ビニールハウス等の園芸施設が102戸で、被害金額は推定で2億円強、農作物は3200万円となっておりますが、今後被害が増えること

が予想されます。また、畜産関連は22件で、一般家庭ではカーポートで275件の報告を受けております。

質問 本市はいち早く降雪被害相談窓口を設置するほか、国や県においても支援策を打ち出しておりますが、一方では、この災害を機に高齢や後継者不足のため、

農業を廃業したいとの声も聞いております。農業復活を諦めることのないよう、国や県、市における支援策などについてお尋ねします。

答 本市の支援策としては、館林市園芸施設災害見舞金の創設を決断したほか、ハウス撤去費用も支援する予定です。今後、国や県などの支援策を活用し、被災した農家が一日も早く経営を再開し、生産意欲をそがれることのないよう、バックアップしてまいりたいと

考えております。

質問 大雪から10日以上過ぎてても残雪が商店街等の道路上に凍りついた状態で残っていました。残雪処理対策についてお尋ねします。

答 市民の皆様のご要望に少しでも応えられますよう、道路維持補修業者との協力体制を今以上に整え、機動力の向上に努めてまいりたいと考えております。

質問 緑の多い本市では、倒木による停電も想定されますが、電線地中化の推進

状況についてお尋ねします。

答 電線地中化は、県の事業として約3・2kmの県道において完成しており、街路景観の向上のみならず、防災上も有益であり、安全安心なまちづくりに欠くことのできない事業と認識しております。しかし、電柱に比べ約20倍の費用を要しますので、都市計画道路の整備や沿道の土地利用状況を踏まえつつ、県と連携を図りながら進めていきたいと考えております。